

国際ロータリー第2790地区

ロータリークラブ会長 各位

義援金のお願い（第2信）

2011. 3. 22

ガバナー 織田吉郎

義捐金の支援は皆様の自由裁量の問題であることは言うまでもありませんが、ガバナー会としてはその平均を1万円／人程度のご支援をいただけるものと想定しています

皆様に3月15日（水）に義捐金のお願いをしましたが、その後どの程度の金額を基準とすべきか提示したほうが良いのではないかという意見が多く寄せられました。

このたびの被災は歴史的な災害であり、死者・行方不明者の数も日を追って増える一方です。未だに行方不明の届け出すらできない人々は万単位でいるといえます。

私は日本のロータリアンから1人1万円程度の義捐金をいただけるのではないかと考えています。

日本全体のロータリアンから1万円ずつお預かりすると10億円近くになります。これを被災地全体に何らかの基準を設けて早急に分配し、各地区ガバナーの判断によってそれぞれの地区内で有効に使われることを願っています。

義捐金の一部は当地区にも分配されます

私は現在被災地を代表して分配案の作成を急いでいます。ガバナー会に集められた支援金の一部は当2790地区の支援にも分配されてくることになるでしょう。

皆様には地区外支援のみならず、地区内支援も並行してすべきであるというお考えの方もいらっしゃると思います。ここは一度一本化して義捐金を集めたく、ご協力をお願いいたします。

支援のチャンネルはクラブのご判断、各ロータリアンのご判断にお任せするのが原則です

被災クラブに対して直接支援をしておられるクラブもあるでしょう。身近な避難民に対して支援の手を差し伸べておられるクラブやロータリアンもいらっしゃると思います。それらは全て貴いものです。義捐金をどのように使ってゆくのかはクラブのご判断、それぞれのロータリアンのご意思にお任せいたします。1つの大きな選択肢としてガバナー会を通じた支援があるとご承知おきください。

第1回締め切りを3月31日、第2回締め切りを4月20日とします

2790地区義捐金の締め切りを4月8日としましたが、ガバナー会の第1回目の締め切りが3月31日となりました。緊急を要する被災地に暫定的に分配して送ろうという考えです。2回目の締め切りを4月20日と設定しています。4月25日に全34地区よりガバナーが集って最終配分及びその後の支援締め切りについて皆で討議することになっています。

個人レベルで奉仕活動をしておられる情報を共有したい

3月18日付で「鈴木悦朗さんを後方支援しましょう」という情報を流しましたが同様の奉仕活動を展開しておられる方は鈴木さんにとどまらず多くの方がいらっしゃるのわかりました。是非個人として奉仕活動を展開しておられる皆様の情報を共有したいと存じます。情報は入手し次第ガバナーホームページにアップします。皆様のお一人お一人の奉仕の実践はロータリアンの誇りです。ガバナー事務所が情報センターとなって地区内で「良いこと」をする人の輪が広がり、それを他の会員が支えてゆく型ができれば…と思います。

ロータリーらしい支援を

終わりにロータリーの支援に対する私の考え方を述べさせていただきます。これは4月号の月信にも書いたことですが、今はしっかりとした視点を作った上で支援してゆくことが大切だと考えています。災害初期にあつては対応は政府や自治体の任務ですが、対応が行き届かない部分を即決対応力の大きな「個人」が緊急対応をしています。ロータリーの真価が問われるのは初期対応が一段落し、まもなく始まるであろう復興支援期にロータリーらしい公正で建設的な支援ができるか否かです。ロータリーは行政が打出す復興支援制度の網ですくうことのできない様々な困窮事案の支援に力を注ぐべきだと思うのです。そのためには地元ロータリアンの要望を聞きながら共に活動してゆくのが最善だと考えています。

ガバナー会に集まった義援金は基本的には被災地ガバナーにその用途をゆだねることになりますが、今後はガバナー相互に連携を強めつつこれまでの常識や習慣の枠を超えて一致団結してこの難局を乗り越えようと現在緊密な連絡をとりあっています。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。